

第115回大幸ライフトピア連携研究会

保健学セミナー

日時：平成30年10月19日（金）18:30～20:00

場所：名古屋大学 大幸キャンパス 本館2階 第2講義室

対象：大学院生、学部生、教員、医療従事者

青年期精神医学における青年の『ひきこもり』 —日本と海外の事情—



古橋忠晃先生

（名古屋大学 学生相談総合センター
名古屋大学総合保健体育科学センター保健科学部 准教授）

1980年代後半に日本に出現し、2000年以降深刻な社会問題となり、近年は平均年齢の高齢化が問題視されている「ひきこもり」。私は、名古屋大学東山キャンパスで学生のメンタルヘルスに携わり、「ひきこもり」など青年期の精神病理を研究している精神科医です。最近では、「ひきこもり」はアジアやヨーロッパにも見いだされています。

私は元々フランスの精神医学を勉強してきた縁もあって、現在、フランスで「ひきこもり」に関する講演活動や、現地の看護師と「ひきこもり」の訪問診療を行い彼らと対話をしてきました。講演では日仏での診療経験から得られたことについてお話します。



<お問い合わせ先>

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）

このセミナーは保健学セミナー（THP養成コース）の単位認定プログラムです。

Email: thp@met.nagoya-u.ac.jp

<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/THP/index.html>